

# 消費動向調査

## 第19回「山形県家計消費動向調査」(概要)

- ① 調査の目的 山形県民の暮らし向きや今後の見通しについて時系列的に捉えるとともに、具体的な商品やサービスに対する支出動向を把握することにより、景気判断等の基礎資料を得ることを目的とする。
- ② 調査の方法 郵送調査専用モニターを利用したアンケート調査
- ③ 調査の対象者 山形県内に在住する勤労者世帯(世帯人数2名以上)
- ④ 調査期間 平成23年3月8日～18日(震災により28日まで延長)

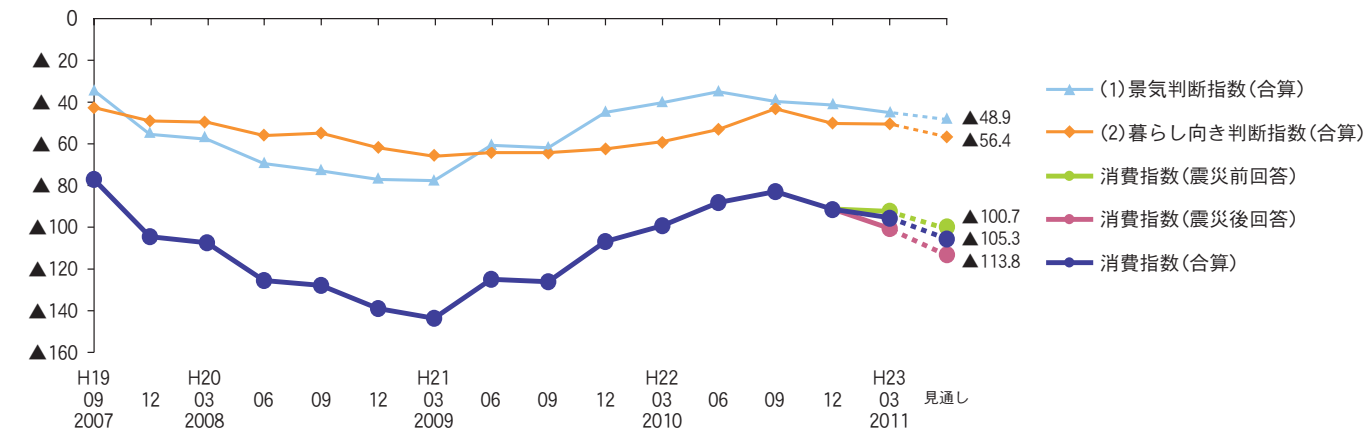
モニター世帯数：458世帯  
有効回答数：410世帯(回答率：89.5%)  
・震災前回答数：229世帯(55.9%)  
・震災後回答数：181世帯(44.1%)

### 消費指数

#### ～2期連続のマイナス、大震災により経済活動が停滞～

消費指数は▲95.8(前期比:4.4ポイントマイナス)となり、2期連続のマイナスとなった。また、今回調査の回答(410世帯)を3月11日に発生した東日本大震災の前後に分割して集計した結果、震災前の回答(229世帯)では1.1ポイント悪化の▲92.5であるが、震災後の回答(181世帯)では8.9ポイント悪化して▲100.3となっている。震災前の回答に比べ、震災後の回答の方が7.8ポイント悪化している。

なお、今後の見通しについては、▲105.3(前期比:9.5ポイントマイナス)で大幅悪化の見込みである。震災前の回答では、▲100.7(前期比:4.9ポイントマイナス)であったが、震災後の回答では▲113.8(前期比:18.0ポイントマイナス)となっている。震災前の回答に比べ、震災後の回答の方が13.1ポイントの大幅なマイナスとなった。



調査時期	消費指数											
	(1) 景気判断指数							(2) 暮らし向き判断指数				
	①景気	②雇用環境	③物価	④世帯収入	⑤保有資産	⑥お金の使い方	⑦暮らしのゆとり	⑧世帯収入	⑨保有資産	⑩お金の使い方	⑪暮らしのゆとり	
22年 3月	▲99.2	▲40.5	▲16.7	▲58.7	▲12.4	▲14.6	▲14.4	▲17.3	▲12.4	▲14.6	▲14.4	▲17.3
6月	▲88.1	▲35.2	▲13.2	▲52.9	▲12.8	▲14.4	▲10.4	▲15.3	▲12.8	▲14.4	▲10.4	▲15.3
9月	▲83.0	▲39.6	▲15.0	▲43.4	▲6.3	▲11.9	▲10.0	▲15.2	▲6.3	▲11.9	▲10.0	▲15.2
12月	▲91.4	▲41.3	▲14.9	▲50.1	▲12.3	▲12.8	▲9.8	▲15.2	▲12.3	▲12.8	▲9.8	▲15.2
23年 3月	▲95.8	▲45.3	▲14.4	▲50.5	▲12.6	▲13.0	▲10.2	▲14.7	▲12.6	▲13.0	▲10.2	▲14.7
(前期差)	(▲4.4)	(▲4.0)	(0.5)	(▲0.4)	(▲0.3)	(▲0.2)	(▲0.4)	(0.5)	(▲0.4)	(▲0.3)	(▲0.2)	(▲0.4)
(前年同期差)	(3.4)	(▲4.8)	(2.3)	(4.6)	(▲11.7)	(8.2)	(▲0.2)	(1.6)	(4.2)	(2.6)	(2.6)	(2.6)
震災前(n=229)	▲92.5	▲42.9	▲13.5	▲49.6	▲13.1	▲12.1	▲9.9	▲14.5	▲13.1	▲12.1	▲9.9	▲14.5
震災後(n=181)	▲100.3	▲48.4	▲15.6	▲51.9	▲12.0	▲14.2	▲10.7	▲15.0	▲12.0	▲14.2	▲10.7	▲15.0
(震災前後差)	(▲7.8)	(▲5.5)	(▲2.1)	(▲2.3)	(1.1)	(▲2.1)	(▲0.8)	(▲0.5)	(▲2.3)	(1.1)	(▲2.1)	(▲0.5)
見通し	▲105.3	▲48.9	▲14.2	▲56.4	▲13.7	▲14.3	▲13.3	▲15.1	▲13.7	▲14.3	▲13.3	▲15.1
(変化幅)	(▲9.5)	(▲3.6)	(0.2)	(▲5.9)	(▲1.1)	(▲1.3)	(▲3.1)	(▲0.4)	(▲5.9)	(▲1.1)	(▲1.3)	(▲3.1)
震災前(n=229)	▲100.7	▲46.1	▲12.9	▲54.6	▲13.8	▲14.1	▲12.3	▲14.4	▲13.8	▲14.1	▲12.3	▲14.4
震災後(n=181)	▲113.8	▲52.3	▲15.8	▲61.5	▲13.5	▲14.7	▲14.7	▲18.6	▲13.5	▲14.7	▲14.7	▲18.6
(震災前後差)	(▲13.1)	(▲6.2)	(▲2.9)	(▲6.9)	(0.3)	(▲0.6)	(▲2.4)	(▲4.2)	(0.3)	(▲0.6)	(▲2.4)	(▲4.2)

#### 【指数の見方】

消費指数は景気判断指数(景気・雇用環境・物価の3項目で構成)と暮らし向き指数(世帯収入・保有資産・お金の使い方・暮らしのゆとりの4項目で構成)の合計からなり、値は200～▲200の範囲をとり、指数がプラスであれば家計の消費マインドは高揚していると判断します。一方、指数がマイナスであれば、消費マインドは低迷していると判断します。

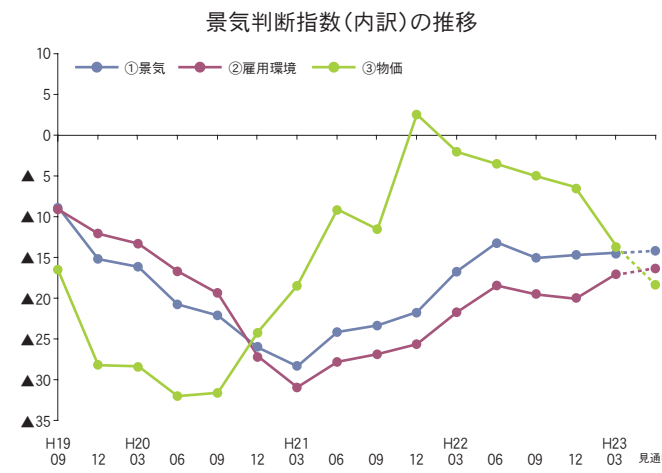
### 景気と暮らし向き

#### 景気判断

景気判断指数は▲45.3(前期比:4.0ポイントマイナス)となり、3期連続で悪化した。震災前回答では▲42.9(前期比:1.6ポイントマイナス)であったが、震災後回答では▲48.4(前期比:7.1ポイントマイナス)となっている。震災前の回答に比べ、震災後の回答の方が5.5ポイント悪化している。

なお、今後の見通しについては▲48.9(前期比:3.6ポイントマイナス)となった。震災前回答では▲46.1(前期比:0.8ポイントマイナス)であったが、震災後回答では▲52.3(前期比:7.0ポイントマイナス)となっている。震災前の回答に比べ、震災後の回答の方が6.2ポイント悪化している。

個別の指数(合算)では「③物価(日用品価格)」が▲13.8(前期比:7.4ポイントマイナス)と5期連続で下落し、今後の見通しにおいても▲18.4(前期比:4.6ポイントマイナス)とさらに落ち込んでいる。緩やかに続いていた物価高の傾向が、震災による食料・燃料不足等により加速しているものと見られる。



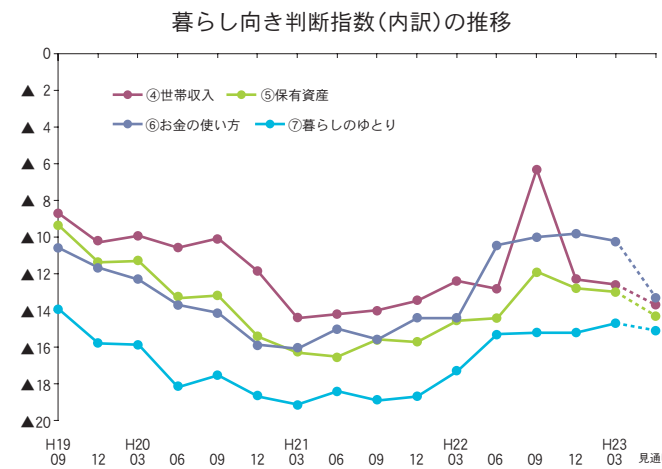
調査時期	(1) 景気判断指数			
	①景気	②雇用環境	③物価	④物価
22年 3月	▲40.5	▲16.7	▲2.1	▲2.1
6月	▲35.2	▲13.2	▲3.5	▲3.5
9月	▲39.6	▲15.0	▲5.1	▲5.1
12月	▲41.3	▲14.9	▲6.4	▲6.4
23年 3月	▲45.3	▲14.4	▲13.8	▲13.8
(前期差)	(▲4.0)	(0.5)	(7.4)	(7.4)
(前年同期差)	(▲4.8)	(2.3)	(4.6)	(11.7)
震災前(n=229)	▲42.9	▲13.5	▲12.9	▲12.9
震災後(n=181)	▲48.4	▲15.6	▲15.0	▲15.0
(震災前後差)	(▲5.5)	(▲2.1)	(▲2.1)	(▲2.1)
見通し	▲48.9	▲14.2	▲18.4	▲18.4
(変化幅)	(▲3.6)	(0.2)	(▲4.6)	(▲4.6)
震災前(n=229)	▲46.1	▲12.9	▲17.3	▲17.3
震災後(n=181)	▲52.3	▲15.8	▲19.8	▲19.8
(震災前後差)	(▲6.2)	(▲2.9)	(▲2.5)	(▲2.5)

#### 暮らし向き判断

暮らし向き判断指数は▲50.5(前期比:0.4ポイントマイナス)となり、2期連続で悪化した。震災前の回答では▲49.6(前期比:0.5ポイントプラス)であったが、震災後の回答では▲51.9(前期比:1.8ポイントマイナス)となっている。震災前の回答に比べ、震災後の回答の方が2.3ポイント悪化している。

なお、今後の見通しについては▲56.4(前期比:5.9ポイントマイナス)となった。震災前の回答では▲54.6(前期比:4.1ポイントマイナス)であったが、震災後の回答では▲61.5(前期比:11.0ポイントマイナス)となっている。震災前の回答に比べ、震災後の回答の方が6.9ポイント悪化している。

個別の指数(合算)では「⑥お金の使い方」が▲10.2(前期比:0.4ポイントマイナス)となり、5期続いていた改善がストップし、さらに今後の見通しについては▲13.3(前期比:3.1ポイントマイナス)と大きく下落する見込みである。震災により経済活動の停滞が予想される中、消費の自粛ムードが加わり、消費マインドは大きく低下するものと考えられる。



調査時期	(2) 暮らし向き判断指数			
	④世帯収入	⑤保有資産	⑥お金の使い方	⑦暮らしのゆとり
22年 3月	▲58.7	▲12.4	▲14.6	▲14.4
6月	▲52.9	▲12.8	▲14.4	▲10.4
9月	▲43.4	▲6.3	▲11.9	▲10.0
12月	▲50.1	▲12.3	▲12.8	▲9.8
23年 3月	▲50.5	▲12.6	▲13.0	▲10.2
(前期差)	(▲0.4)	(▲0.3)	(▲0.2)	(▲0.4)
(前年同期差)	(8.2)	(▲0.2)	(1.6)	(4.2)
震災前(n=229)	▲49.6	▲13.1	▲12.1	▲9.9
震災後(n=181)	▲51.9	▲12.0	▲14.2	▲10.7
(震災前後差)	(▲2.3)	(1.1)	(▲2.1)	(▲0.8)
見通し	▲56.4	▲13.7	▲14.3	▲13.3
(変化幅)	(▲5.9)	(▲1.1)	(▲1.3)	(▲3.1)
震災前(n=229)	▲54.6	▲13.8	▲14.1	▲12.3
震災後(n=181)	▲61.5	▲13.5	▲14.7	▲14.7
(震災前後差)	(▲6.9)	(0.3)	(▲0.6)	(▲2.4)